

連合会だより 74号

226 団体

89,931 世帯

町田市原町田 4-9-8

042-722-4262

発行人 安達 廣美

市連町内会・自治会長研修会

38名の参加で2月22日に実施されました。

当日は冷たい雨が降るあいにくの天気でしたが予定通り研修をしてきました。研修の様子を報告します。

東京臨海広域防災公園

第一の見学先は江東区有明にある東京臨海広域防災公園でした。この公園は首都圏で大規模な地震災害などが発生したときに、国・地方自治体が緊急現地対策本部を設置し、公園全体が広域的な指令機能を持つことができる場所として整備されました。

普段は国営公園部分だけでも6.7ヘクタールの広大なスペースが公園として開放されています。

私たちが見学したのは、この中にある「そなエリア東京」という防災体験ができる施設です。ここの特徴は施設内に大地震直後の街並みの様子が再現された設備があり、見学者はその中を歩きながら地震時の対処の仕方を学ぶことができる点にあります。

実際の見学の様子は次のようなものでした。

まずエントランスで施設の概要の説明を受けます。続いてアニメーション映像で市街地で大地震にあったときの様子と対処について学習します。発災後72時間を生きぬくため、「自助→共助→公助」への流れが分かりやすく説かれていました。

次にこの施設の「目玉」とされる災害体験ゾーンの見学です。入口でタブレット端末をわたされ、その指示によって体験ゾーンを歩きながら「防災クイズ」を解いていきます。音響・照明などで余震が起きるジオラマの中をクイズに答えることで注意すべきことを確認しながら避難場所にたどり着くという設定になっています。



再現避難所

最後にある「再現避難所」には避難所の運営に必要な機材や、生活を支えるための器具・用具などが展示されていて、私たちの防災計画の立案や訓練計画の作成の際の参考になる内容でした。

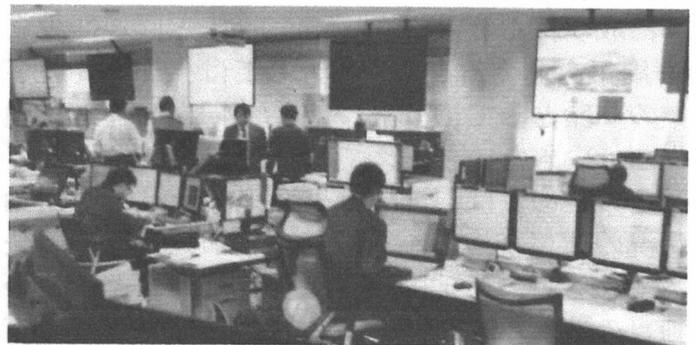
気象庁

午後の見学先は「気象庁」。最近では風水害や雪害の多発など、気象災害がニュースになることが増えているように感じます。災害が予想される場合だけでなく、私たちの日常生活に大きく影響する天気予報を出している気象庁の見学は興味深いものでした。

見学はまず一般に公開されている気象学習室です。

日本周辺の気象に関するだけでなく、海洋・地震・火山など地球規模で自然環境の観測を続けていることを一般の見学者にも分かりやすく展示され、その業務の多様なことが理解できます。

次に案内されたのは、実際に天気予報などが作成されているスペースでした。窓越しでしたが、解説を聞きながらの見学は、実際の予報が作られている現場の緊張感を感じることができました。



気象庁予報部

印象的だったのは、気象庁に集まる膨大な気象データはスーパーコンピュータによって処理され、天気図概要が作られるが、最後にそれを完成させるのは予報官の手作業ということでした。AIが大きく進歩した中でも、人間の役割はまだまだ重要なのだと認識しました。

その他、航空や船舶気象、地震・火山情報などのブースも見学することができました。

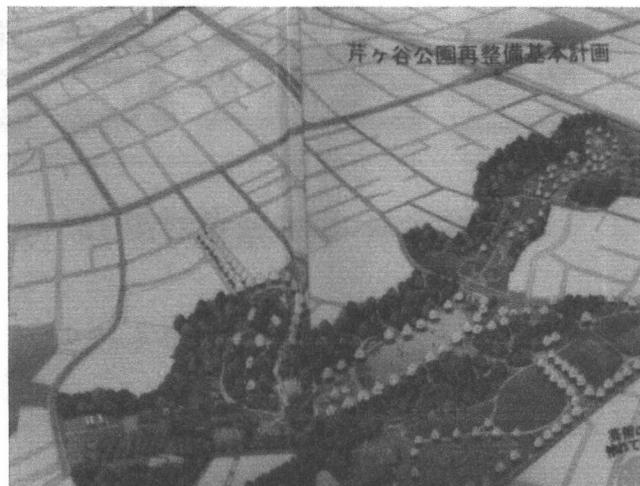
なお、私たちが日常接している天気予報は、気象庁から直接もたらされるものではなく、気象予報業務支援センターを通じて民間の気象会社に伝えられ、天気予報が作られているそうです。

編集委員 北島 卓美

芹ヶ谷公園再整備基本計画

芹ヶ谷公園は、原町田地区と高ヶ坂地区にまたがり、町田駅から東北へ約700mにあります。徒歩圏内の距離であり周辺には住宅地や学校等があり、市民の憩いの場として親しまれています。また高ヶ坂丘陵地区には、住居跡発見の第一号として1926年（大正15年）に国の史跡として指定された高ヶ坂石器時代遺跡（縄文式時代の集落跡）があります。公園内には、国際版画美術館があり、芹ヶ谷公園再整備基本計画の中には、(仮称)「国際工芸美術館」の建設計画もあります。一方、町田第二中学校付近にあった都営住宅がすべて撤去され、仮設の野球場として活用されていますが今後多目的広場となります。

その他に将来計画の中で、モノレールが延伸される計画があります。公園内には、環境の変



化に敏感とも言われている蛍が、夏の夜になると清水の湧き出ている近くで静かに光っています。そんな自然が壊されないように、工事の方法等、十分な配慮が必要な事は言うまでもありません。

編集委員 田野倉 進

加入促進に取り組んでいます！

町田市内の町内会・自治会の世帯加入率は、現在約53%と減少傾向が続いています。

こうした状況を鑑みて、市連合会では、市民協働推進課と連携を強化しながら、住民の加入促進に取り組んでいます。本年、市制と同様に設立60周年を迎える市連合会としては、加入促進事業の一環として、町内会・自治会同士の連携を強化していきたいと考えています。

そのためには、町内会・自治会どうしの、活動状況の情報交換が不可欠です。加入促進で工夫している点、困っている点、町内会・自治会での独自の取り組みなどを、市連合会に（あるいは市民協働推進課にも）是非情報をお寄せください。

また、市内に311を数える町内会・自治会のうち、連合会への加盟は約75%です。近隣に連合会に未加入の町内会・自治会がございましたら、積極的に連合会への加入を促していただきますようお願いいたします。

◆ 町田市町内会・自治会連合会
電話042-722-4262
<http://machida-shiren.com/>

◆ 町田市市民部市民協働推進課
電話042-724-4358
siminbu130@city.machida.tokyo.jp



町田市では、2018年の市制60周年を契機として、東京2020オリンピック・パラリンピックへと続く3カ年を「まちだ〇ごと大作戦18-20」として開始しています。

「〇ごと大作戦」は、市民や地域が自ら「やってみよう夢」を賛同者の知恵や応援を得て実現を目指す取り組みです。

市内の経済団体や地域団体等で構成する「まちだ〇ごと大作戦実行委員会」（委員長・深澤勝氏〔町田商工会議所会頭〕、副委員長・安達廣美氏〔町田市町内会・自治会連合会会長〕）が支えます。

市連合会としても、この取り組みを積極的に支援していきます。地域の絆づくりや新たな人と人のつながりづくりに「〇ごと大作戦」を活用してみませんか。

◆ まちだ〇ごと大作戦実行委員会事務局
（町田市役所広報課3カ年シティブロモーション担当）
電話042-724-4084

大作戦
チャレンジ事業
募集中！

